【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和4年4月20日(2022.4.20)

【国際公開番号】WO2019/204136
【公表番号】特表2021-521227(P2021-521227A)
【公表日】令和3年8月26日(2021.8.26)
【出願番号】特願2020-556855(P2020-556855)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ 31/401(2006.01)
Ａ６１Ｐ 25/02(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ 31/401
Ａ６１Ｐ 25/02 １０１

【手続補正書】
【提出日】令和4年4月11日(2022.4.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
対象におけるＮａｖ１．７の調節によって媒介される疾患または状態を処置するための医薬組成物であって、化合物（５Ｒ）－５－（４－｛［（２－フルオロフェニル）メチル］オキシ｝フェニル）－Ｌ－プロリンアミド、またはその薬学的に許容される塩を含み、
前記対象がＵＧＴ阻害剤による処置を受けていない、前記医薬組成物。
【請求項２】
前記ＵＧＴ阻害剤が、カナグリフロジン、ダパグリフロジン、メフェナム酸、プロベネシド、ジクロフェナク、キニジン、フルコナゾール、及びバルプロ酸から選択される、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項３】
前記対象が、前記化合物またはその薬学的に許容される塩による処置を開始する少なくとも３週間前に、前記ＵＧＴ阻害剤による処置を中止した、請求項１または２に記載の医薬組成物。
【請求項４】
前記医薬組成物が、前記化合物またはその薬学的に許容される塩を、約１５０ｍｇ～約４００ｍｇの投与量で投与するためのものである、請求項１または２に記載の医薬組成物。
【請求項５】
前記医薬組成物が、前記化合物またはその薬学的に許容される塩を、約２００ｍｇの投与量で１日２回（ＢＩＤ）投与するためのものである、請求項１または２に記載の医薬組成物。
【請求項６】
前記医薬組成物が、前記化合物またはその薬学的に許容される塩を、約１５０ｍｇの投与量で１日３回（ＴＩＤ）投与するためのものである、請求項１または２に記載の医薬組成物。
【請求項７】
前記医薬組成物が、前記化合物またはその薬学的に許容される塩を、約２５０ｍｇの投与量で１日３回（ＴＩＤ）投与するためのものである、請求項１または２に記載の医薬組成

物。
【請求項８】
前記対象が、前記化合物またはその薬学的に許容される塩で以前に処置されていない、請求項７に記載の医薬組成物。
【請求項９】
前記対象が、１５０ｍｇの投与量の前記化合物またはその薬学的に許容される塩で以前に処置されており、例えば、前記対象が、約１５０ｍｇの投与量の前記化合物またはその薬学的に許容される塩による処置に対する非応答者と識別されたものである、請求項７に記載の医薬組成物。
【請求項１０】
前記医薬組成物が、前記化合物またはその薬学的に許容される塩を、約３００ｍｇ～約４００ｍｇの投与量で１日２回（ＢＩＤ）投与するためのものである、請求項１または２に記載の医薬組成物。
【請求項１１】
経口投与のための、請求項１～１０のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項１２】
Ｎａｖ１．７の調節によって媒介される疾患または状態を処置するための医薬組成物であって、（５Ｒ）－５－（４－｛［（２－フルオロフェニル）メチル］オキシ｝フェニル）－Ｌ－プロリンアミド、またはその薬学的に許容される塩を含み、
前記対象がＵＧＴ阻害剤による処置を受けている、前記医薬組成物。
【請求項１３】
前記ＵＧＴ阻害剤が、カナグリフロジン、ダパグリフロジン、メフェナム酸、プロベネシド、ジクロフェナク、キニジン、フルコナゾール、及びバルプロ酸から選択される、請求項１２に記載の医薬組成物。
【請求項１４】
前記医薬組成物が、前記化合物またはその薬学的に許容される塩を、ＵＧＴ阻害剤を使用していない対象への投与量より少なくとも３０％低い投与量で投与するためのものである、請求項１２または１３に記載の医薬組成物。
【請求項１５】
前記医薬組成物が、前記化合物またはその薬学的に許容される塩を、ＵＧＴ阻害剤を使用していない対象への投与量より少なくとも５０％低い投与量で投与するためのものである、請求項１２～１４のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項１６】
前記医薬組成物が、前記化合物またはその薬学的に許容される塩を、約５０ｍｇ～約３５０ｍｇ　ＢＩＤの投与量で投与するためのものである、請求項１２～１５のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項１７】
経口投与のための、請求項１２～１６のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項１８】
それを必要としている対象におけるＮａｖ１．７の調節によって媒介される疾患または状態を処置するための医薬の製造における、（５Ｒ）－５－（４－｛［（２－フルオロフェニル）メチル］オキシ｝フェニル）－Ｌ－プロリンアミド、またはその薬学的に許容される塩の使用であって、
前記対象がＵＧＴ阻害剤による処置を受けている、前記使用。
【請求項１９】
それを必要としている対象におけるＮａｖ１．７の調節によって媒介される疾患または状態を処置するための医薬の製造における、（５Ｒ）－５－（４－｛［（２－フルオロフェニル）メチル］オキシ｝フェニル）－Ｌ－プロリンアミド、またはその薬学的に許容される塩の使用であって、
前記対象がＵＧＴ阻害剤による処置を受けていない、前記使用。